

## 第5学年 家庭科学学習指導案

## 1 題材名 生活を支えるお金と物

## 2 題材について

## (1) 題材観

本題材は小学校学習指導要領家庭編の以下の内容に基づく。

## C 消費生活と環境

## (1) 物や金銭の使い方と買物

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 買物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解すること。

(イ) 身近な物の選び方、買い方を理解し、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできること。

イ 購入に必要な情報を活用し、身近な物の選び方、買い方を考え、工夫すること。

これまでに児童は「A家族・家庭生活」「B衣食住の生活」に関する内容を学習しており、その中で「C消費生活と環境」のうち「(2)環境に配慮した生活」については学習しているものの、本題材で初めて(1)について学習する。(1)を扱うのは、開隆堂の小学校家庭科教科書ではこの題材だけとなっている。本題材では、物や金銭の大切さについて理解し、買物の仕組みや消費者の役割、買物に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、工夫して買物できるようにすることをねらいとしている。「買物の仕組みや消費者の役割」は新設されたものであり、中学校での「売買契約の仕組み」や「消費者の基本的な権利と責任」「消費者被害の背景とその対応」に繋がっていく。

## (2) 児童の実態

学区近辺にはスーパーマーケットやコンビニエンスストア、大型ショッピングセンターがあり、すぐに買物ができる環境にある。しかしながら、品物を選んでお金を支払う所まで一人で買物をした経験のない児童が8%、1～2回の経験という児童が23%と、3分の1弱の児童は買物経験が少ない。買物をする時に気を付けていることとしては、「必要な量だけ買う」82%、「値段が安いものを買う」64%と、分量や値段については意識できている児童が多かった。一方で「日付や表示、マークを見る」35%、「見た目などから品質のよさそうな物を選ぶ」40%と、分量や値段以外のものを意識できている児童は少なかった。また複数の観点を比較検討した買物の仕方である「値段や量や品質などからお得な物」は45%、環境に配慮した買物の仕方である「詰め替えやリサイクルできるもの」は23%と、これらについても意識できていないことがわかった。

## (3) 指導観

本題材の学習ではまず「金銭の大切さ」に重点を置き、収入・支出の学習から自分たちが使っているお金はおうちの人が働いて手に入れた物であり、それを使って様々なものを買うことで生活が成り立っていることを理解させる。その上で無駄な支出をしないための方法として、買物の仕方を考えさせていく。この中で買物の際には値段だけではなく、品質を確認するために表示やマークを見る必要があることに気付かせたり、使う時や食べる時、捨てる時のことを考えながら、時と場に応じてよりよい物を選んだりできるようにしていきたい。また題材の最後に、自分と物とのよりよい関わり方を考えさせることで、物を大切に長く使うことで捨てる物を減らせること、

そのためには買う時にもよく考えて選ぶ必要があることに気付かせていきたい。

### 3 題材の目標

- (1) 買物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方、身近な物の選び方、買い方、自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解するとともに、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできるようにする。【知識及び技能】
- (2) 身近な物の選び方、買い方及び環境に配慮した物の使い方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を養う。【思考力、判断力、表現力等】
- (3) 家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買物、環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】

### 4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>買物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解している。</li> <li>身近な物の選び方、買い方を理解しているとともに、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできる。</li> <li>自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解している。</li> </ul>	身近な物の選び方、買い方及び環境に配慮した物の使い方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買物、環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

### 5 指導と評価の計画（5時間）

- |                          |              |
|--------------------------|--------------|
| 〔1〕 私たちの生活とお金・物や金銭の大切さ   | 1時間          |
| 〔2〕 物の選び方・買い方の工夫         | 2時間（本時①・1／2） |
| 〔3〕 買物の仕組み・売買契約          | 1時間（本時②）     |
| 〔4〕 消費者の役割・環境に配慮した物との関わり | 1時間          |

小題材	時間	○ねらい・学習活動	評価規準・評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〔1〕 私たちの生活とお金・物や金銭の大切さ	1	○家計の収入・支出について理解し、限りある収入や買った物の有効な使い方について問題を見だし課題を設定することができる。 ・今までの物との関わり方を考える。 ・収入（得る方法、得ている人）と支出（支出している人、支出している物）について考える。 ・収入と支出のバランスの取り	①物や金銭が自分と家族の生活を支えており、限りある物や金銭を有効に使うことや計画的な使い方について理解している。 ・ワークシート ・確認テスト	①身近な物の選び方、買い方、使い方について問題を見だし課題を設定している。 ・ワークシート	①家族の一員として、生活を

		方や、金銭を計画的に使う方法を考える。			よりよくしようと、物や金銭の使い方と買物、環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。
〔2〕物の選び方・買い方の工夫	2 本時 ①	○複数の観点から物を選ぶ必要性や値段により物の価値を比べられることについて、考えることができる。 ・ノートの模擬購入場面を通して、商品選択の観点を話し合い、根拠をもって意思決定する。 ・値段の高さ・安さの理由や、物の扱い方と関わる時間の違いを考える。	②文房具の選び方や買い方、自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解しているとともに、購入するために必要な情報の整理が適切にできる。 ・ワークシート	②身近な物の選び方や買い方、及び環境に配慮した物の使い方について、様々な解決方法を考え、工夫している。 ・行動観察 ・ワークシート	・行動観察 ・ワークシート
	3	○複数の観点から自分が重視したいことを考え、情報を集めて物を選ぶとともに、選んだ物に対する責任が伴うことについて考えることができる。 ・プリンとせんべいの模擬購入場面を通して、食品選択の観点を話し合い、自分が重視する観点を四つ選ぶ。 ・選んだ観点について情報を集め、根拠をもって意思決定する。 ・消費期限、賞味期限から食品ロスの問題について考える。	③加工食品の選び方や買い方、自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解しているとともに、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ・ワークシート ・確認テスト	③身近な物の選び方、買い方及び環境に配慮した物の使い方について、実践を評価したり、改善したりしている。 ・行動観察 ・ワークシート	②家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買物、環境に配慮した生活について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・行動観察 ・ワークシート
〔3〕買物の仕組み・売買契約	4 本時 ②	○売買契約の仕組みを理解することができる。 ・売買契約成立時点を予想し、基礎的な売買契約の仕組みを理解する。 ・買物で困った時の対応方法や消費生活センターについて理解するとともに、買物で失敗しないためにはどうしたらよいか考える。	④現金による店頭での買物から、基礎的な売買契約について理解している。 ・ワークシート		

〔4〕消費者の役割・環境に配慮した物との関わり	5	<p>○これまでの学習を振り返り、自分と物とのよりよい関わり方を考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手に入れ方・手放し方の違いによるメリット・デメリットを話し合う。</li> <li>・どの手放し方でも、最後はごみになることを理解する。</li> <li>・扱い方の違いによる物と関わる時間の違いを考え、物とよりよく関わるためにできることを話し合う。</li> </ul>	<p>⑤消費者の役割や環境に配慮した物の使い方などについて理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> </ul>	<p>④身近な物の選び方、買い方及び環境に配慮した物の使い方について、考えたことを分かりやすく表現している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> </ul>	<p>③家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買物、環境に配慮した生活について工夫し、実践しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・ワークシート</li> </ul>
-------------------------	---	---	--	--	--

6 本時①の展開（2／5時間）

(1) 小題材名 物の選び方・買い方の工夫

(2) 本時のねらい

複数の観点から物を選ぶ必要性や値段により物の価値を比べられることについて、考えることができる。

(3) 学習活動と評価

時間	学習活動	・指導上の留意点 評価規準（評価方法）	教材、 教具等
5	1 前時までの学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の感想から、収入と支出のバランスについて振り返り、支出をおさえる方法について意識を向けさせる。</li> <li>・布を買った経験を思い出させ、その時に安さだけで選んでいないことを確認する。</li> </ul>	<p>TV Chrome book (布購入の観点をまとめたもの)</p>
2	<p>2 めあてを設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>どのように支出すれば、よい買物になるだろうか。</p> </div>		<p>ワークシート</p>
2	<p>5 具体的な買物場面から、商品選択の観点を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>Aノート（96円） Bノート（118円、JIS、グリーンマーク） Cノート（250円、キャラクター） Dノート（283円、5冊セット）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのノートを買うか考え、その理由</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・値段、品質、表示・マーク、キャラクターの有無などに違いのある4種類のノートを用意し、模擬買物の場面を設定する。</li> <li>・ノートの実物の他に、ノートの写真と値段を示したものを個別に配付し、品質や表示・マークの違いに気付けるようにする。</li> <li>・個人で考えた後と最終的に決めた後</li> </ul>	<p>A～Dのノートの実物と写真 (ロイロノート) Chrome book</p>

<p>8</p> <p>5</p>	<p>を書く。</p> <p>・班で話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・安いのはマークがないよ。</p> <p>・5冊まとめて買うと、1冊あたりは一番安くなるね。</p> <p>・キャラクターが付いていて、この値段なら安いと思うな。</p> </div> <p>・それぞれのノートについて、買う理由、買わない理由を発表する。</p> <p>・最終的に買うノートを決め、その理由を書く。</p> <p>4 お金の役割や良さを知る。</p> <p>・もしお金がなかったら、どうやってノートを手に入れるか考える。</p> <p>・物々交換するなら、何と交換するか考える。</p> <p>・物ではなく、お金を使う良さを考える。</p> <p>5 本時の学習をまとめ、振り返る。</p> <p>・これから買物をする時に気を付けたことや、お金について考えたことを書く。</p>	<p>に、どのノートを選んだかを挙手させて確認し、他の人がどれを選んだのかわかるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <p>①家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買物、環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。(行動観察、ワークシート)</p> <p><b>【知識・技能】</b></p> <p>②文房具の選び方や買い方、自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解しているとともに、購入するために必要な情報の整理が適切にできる。(ワークシート)</p> </div> <p>・安さだけではなく、他の観点も考えて物を選ぶ必要があること、安い・高いにはマークの有無などの理由があることに気付かせる。</p> <p>・買うことで作っている企業の考えに賛成していることを理解させる。</p> <p>・大切に扱えば長く使えるなど、使い方によって物と関わる時間が変わること意識させる。</p> <p>・物々交換では、物同士の価値が同じかどうかを比べるのが難しいこと、持ち運びや保存が大変なものがあることに気付かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <p>②身近な物の選び方や買い方、及び環境に配慮した物の使い方について、様々な解決方法を考え、工夫している。(行動観察、ワークシート)</p> </div>
-------------------	--	---

7 本時②の展開（4／5時間）

(1) 小題材名 買物の仕組み・売買契約

(2) 本時のねらい

売買契約の仕組みを理解することができる。

(3) 学習活動と評価

時間	学習活動	・指導上の留意点 評価規準（評価方法）	教材、 教具等
5	1 前時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の感想から、買物の観点はさまざまあり、無駄な支出にしないためによく考えてから買うことが大切だったことを確認する。</li> <li>・買う前提で買い方の学習をしてきたが、買わないという選択肢もあることを示す。</li> </ul>	
2	2 めあてを設定する。		
1 5	3 品物を返すことができなくなるのは、どの時点か予想する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の予想と理由を書く。</li> <li>・班で話し合う。</li> <li>・話し合ったことをもとに、自分の予想を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買物の手順を確認し、①買う物を選ぶ時、②選んで買う物を決めた時、②レジに持って行ってくださいと言った時、③お金を支払った時、④買った物とレシートを受け取った時、⑤その他で予想させる。</li> <li>・売買契約成立後は、買った人の都合で返品できないことをおさえる。</li> </ul>	ワークシート 掲示物
1 8	4 売買契約について知る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・売買契約の仕組みを理解する。</li> <li>・契約と約束の違いを知る。 例1) バスに乗って行く。 例2) ピザを注文する。 例3) 友達と遊ぶ約束をする。</li> <li>・買物で困った時の対応方法や消費生活センターについて知る。 例4) 買った水筒、家に持ち帰ってふたがきちんと閉まらないことに気付いたらどうする？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な例をいくつか提示して、契約と約束の違いに気付かせる。</li> <li>・買った物に不備があった場合の対応方法を考えさせ、事前によく確認したりレシートをもらったりすることが大切だと気付かせる。</li> <li>・カードはお金と同じ役割をしており、大切に使う必要があることを理解させる。</li> </ul>	掲示物
5	5 本時の学習をまとめ、振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・確認テストに取り組む。</li> <li>・売買契約についてわかったこと、買物をする時に気を付けたいことを書く。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【知識・技能】</b></p> <p>④現金による店頭での買物から、売買契約の基礎について理解している。 (ワークシート、確認テスト)</p> </div>	Chrome book (ロイロノート)